

ふきだし公園は、京極町の市街地から歩いて10分ほどの場所に位置し、原生林を活かして整備されています。とうとう湧水が湧き出る湧水地は、開拓当初より聖なる場所と崇められ、地域の人々の手によって大切に守られてきました。昭和60年、環境庁(現環境省)の名水百選認定を契機に、本格的な公園として整備が始まりました。整備は、平成5年度まで続けられ、コンビネーション遊具、三角ステージ等を持つ総合公園になりました。

公園内の湧水口から湧き出る「ふきだし湧水」は、蝦夷富士とも呼ばれる羊蹄山に降った雨や雪が数十年の歳月をかけて地下に浸透し、京極のこの地で湧き出した湧

水です。水温は、冬も夏も6.5℃前後という冷たさで、水量は1日約8万トン。これは、30万人分の生活用水に匹敵します。

観光客が、年々増加するにつれて、高齢者や障がい者の割合が急激に増え、より優しい環境整備が必要になりました。そこで、下池より湧水口までの園路を舗装しバリアフリー化して、車椅子の障がい者が単独で湧水口まで行くことを可能としました。環境整備にあたり、高齢者や障がい者を含む家族連れの絆や触れ合いを考え、全ての観光客がふきだし公園の自然を満喫できるように整備を行っています。



湧水口



湧水口の賑わい



しゃっこいまつりの流しソーメン

- ①北海道虻田郡京極町字川西
- ②・JR函館本線倶知安駅からバスで25分  
・札幌から車で国道230号線を経由して約1時間50分
- ③京極温泉、京極パークゴルフ場、キャンプ場  
湧学館(生涯学習センター)
- ④7月上旬 ふきだし合唱祭 7月下旬 しゃっこいまつり  
あったかいまつり きょうごくふるさとまつり
- ⑤・しゃっこいまつり実行委員会:まつりの企画運営  
・ふきだし合唱祭実行委員会:合唱祭の企画運営
- ⑥京極町 企画振興課  
電話番号 0136-42-2111

